

特別会計・水道事業会計

30億8,827万9,000円

賛成多数で可決

総務建設常任委員会

総務建設常任委員会に付託された
特別会計・水道事業会計

審査

住宅資金貸付事業
特別会計

償還金について

問 3年前からは他会計からの繰り入れはなく、貸付返還金の中で賄っている。償還金は年々減ってきているが、残金についてお聞きしたい。

答 一般会計からの繰り入れは、現年度分滞納者分の歳入で賄っており、一般会計からの繰り入れはありません。残金については、決算の中で毎年繰り越しということでご処理しています。

下水道事業
特別会計

事業の進め方

問 事業開始10年で30%の進捗率では、今後20年かかる計算になる。下水道計画区域は合併浄化槽補助の対象にならない。環境問題を含め、対策はあるのか。

答 下水道事業を計画的に進めていきたい。

問 料金収入で収支が合うようになる見通しは。

答 現在は整備中のため一般会計等から繰り入れていきます。将来的には料金収入で賄えればよいと思います。

農業集落排水処理
事業特別会計

事業方針について

問 農業集落排水処理施設機能診断委託は、公共下水道にたなぎ込みの検討材料にもなるのか。

答 十条処理区施設の機能診断を予定しています。診断結果の中で施設の更新や公共下水道へのたなぎ込みなども踏まえ、今後の事業方針を検討していきたい。



処理場内部

水道事業会計

今後の需要見込みについて

問 毎年給水量が減少しているが、県水(3000トン/日)受水の今後の需要見込みを聞きたい。

答 スマートIC関連等により、工場誘致を予定している3000トン/日を維持していきたい。



第1浄水場の配水池

文教民生経済常任委員会に
付託された特別会計

審査

国民健康保険
特別会計

特定健康保険審査の受診率の向上を目指して

問 特定健康診査負担金については、昨年と同様の受診率45%で見込んでいるが、この予算で妥当なのか。

答 平成25年度の受診率は35.04%、平成26年度の受診率は35.8%、平成27年度の受診率は35.04%です。当初予算では対象者1075人に対し、集団健診40%、実施予定の個別健診5%の45%で予算計上しています。

多くの方が受診できるよう、



みさと健康ときめき楽習会

問 今後も広報等で周知したい。疾病予防費の人間ドック助成金額は妥当なのか。

答 平成27年度は人間ドック70人、脳ドック20人の90人分で予算計上しており、対応できると考えています。

介護保険
特別会計

介護保険の今後について

問 介護保険料の第1号被保険者保険料4464万3000円の増額は保険料の値上げ分でしょうか。

答 介護保険料の改定等に伴う増額分です。

問 2次予防事業のシニア健康あつぷふ塾や1次予防事業のボランティア養成事業、らくらく筋トレ教室などがあるが、参加しようと思う人への周知方法はどのようなのか。

答 さまざまな方法での周知が必要だと考えている。事業によっては送迎も行っており、より多くの方が参加できるようにしたい。



らくらく筋トレ教室

後期高齢者医療
特別会計

75歳からの自己負担はどうなるのか

問 保険基盤安定繰入金減額の理由は。

答 保険基盤安定繰入金金は保険料の軽減分で、7割・5割・2割軽減分と、被扶養者5割軽減分を県で4分の3、町で4分の1の額で計上している。軽減対象者は1011人です。

文教民生経済常任委員会

